

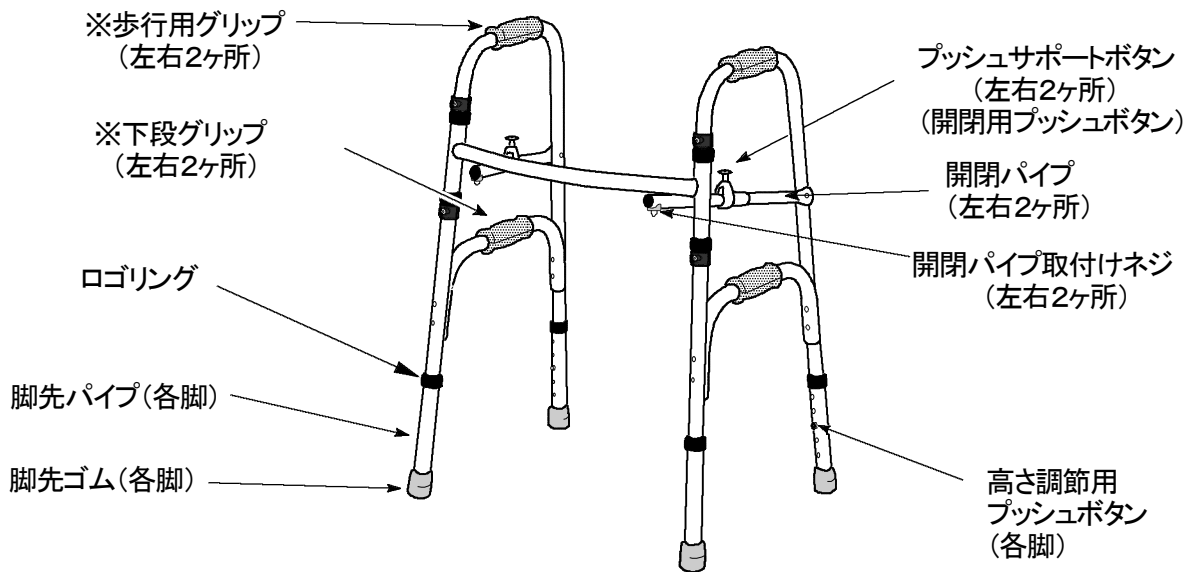
イーストアイ・セーフティーアーム®シリーズ セーフティーアーム シルバー/ハイタイプ (品番：SAR-C/SAHR)

取扱説明書

この度は「イーストアイ・セーフティーアーム/セーフティーアーム ハイタイプ」をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。また、この「取扱説明書」は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。この「イーストアイ・セーフティーアーム/セーフティーアームハイタイプ」は、屋内・屋外での歩行・立ち上がりを補助するための製品です。ご使用前に専門家(医師、理学療法士、介護福祉士、ケアマネージャーなど)にご相談ください。また、長期間ご使用される間に使用者の症状が変わる場合がありますので、定期的に専門家にご相談ください。用具選定の際の適合が十分でなかったり、無理な使用をすることにより、症状の悪化や転倒事故などが起きる原因になります。

【各部の名称】

※グリップ養生用ラップをはがしてからご使用ください







《コの字型使用時》

【目次】

- ・各部の名称……………1P
- ・警告表示の説明……………2P
- ・使用条件……………2P
- ・使用上の警告と注意……………3～9P
- ・ご使用前の準備……………10P
- ・開閉方法……………11P
- ・ご使用方法……………12P
- ・手すりとしての使用方法……………12P
- ・お手入れの方法……………12～13P
- ・お手入れの際のチェックポイント……………13P
- ・グリップの交換方法……………14P
- ・基本仕様……………15P
- ・安全に製品をご使用いただくために……………16P




【警告表示の説明】

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

<p>警告表示 :  警告</p> <p>この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>	<p>警告表示 :  注意</p> <p>この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
<p>図記号 :  禁止</p> <p>使用の際に「してはいけない内容(禁止)」を示しています。</p>	<p>図記号 :  必ずおこなう</p> <p>使用の際に「必ずお守りいただく内容(実行)」を示しています。</p>

【使用条件】

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

 警告	
<p style="text-align: center;">誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。</p>	
<p>専門家の指示に従う</p> <p> 必ずおこなう</p>	<p>●この「セーフティーアーム(SAR-C) セーフティーアーム ハイタイプ(SAHR)」は、屋内・屋外での歩行立ち上がりを補助するための製品です。 ご使用前に専門家(医師、理学療法士、介護福祉士、ケアマネージャーなど)にご相談ください。また、長期間ご使用される間に使用者の症状が変わる場合がありますので、定期的に専門家にご相談ください。 専門家の判断のもと、使用する場合は次の警告・注意事項をご確認ください。</p> <p>○用具選定の際の適合が十分でない場合や、無理な使用をすることにより、症状の悪化や転倒事故などが起きる原因になります。</p>
<p>グリップを握ることができない方は使わない</p> <p> 禁止</p>	<p>●グリップをしっかり握ることができない方、両手で身体を支えることができない方は使用できません。また、つかまり立ち、伝い歩きができない方は使用できません。</p> <p>○身体の動きと製品の動きがあわないと、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。</p>
<p>偏った荷重をかけない</p> <p> 禁止</p>	<p>●グリップへ左右均等に体重をかけることができない方は使用できません。</p> <p>○偏った力をかけて使用すると、製品が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。</p>
<p>体力や状態に応じて介助の方が付き添う</p> <p> 必ずおこなう</p>	<p>●自立歩行に不安のある方は、必ず介助の方が付き添いご使用ください。 使用者の体力や状態、使用場所に応じて、介助の方が付き添いご使用ください。 また、使用者の体力や状態に応じて介助の方が開閉動作やご使用前の準備をおこなってください。 * 身体の状態により、歩行時に、フレームなどへ身体の一部が当たることに気付くことが難しい場合には、必ず介助の方が付き添いご使用ください。</p> <p>○誤った使用方法をすると使用者や製品が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。</p>
<p>ご使用前に各部を点検、メンテナンスする</p> <p> 必ずおこなう</p>	<p>●製品は使用とともに劣化が進みます。取扱説明書をご参照の上、ご使用前に各部を点検し、メンテナンスしていただきますようお願い申し上げます。 この製品の保証期間はご購入日より1年間です。 なお保証期間を経過し、長年ご愛用いただいております製品につきましては、特に注意して定期点検をしてください。 保証期間内、または期間を経過した製品につきましても、製品に異常が見られる場合は、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先: 16項』または発売元までお問合せください。</p>

【使用上の警告と注意】

1. 本製品の使用前に確認すること

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

警告

誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

プッシュボタンのロックを確認



❗ 必ずおこなう

- 開閉用プッシュボタンが大きく飛び出た状態にロックされていることを確認してご使用ください。ロックできない場合は「カチッ」と音がするまで、2～3度ゆっくり開いてください。
- ご使用中に歩行器が折りたたまれて不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。
- 高さを調節する際、脚先パイプの高さ調節用プッシュボタンが4ヶ所とも大きく飛び出た状態にロックされていることをご確認ください。プッシュボタンを深く押しすぎると中に入り込んでしまう場合があります。この場合は一度、脚先パイプをはずし、プッシュボタンを出してからセットし直してください。
- ご使用中に本体が下がり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。
- * プッシュボタンに異常が見られる場合は、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先:16項』または発売元までお問合せください。

脚先パイプは同じ穴位置にセット

❗ 必ずおこなう

- 脚先パイプは各脚とも同じ高さの穴位置にプッシュボタンをセットしてご使用ください。
- 歩行器が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

グリップの点検と確認

❗ 必ずおこなう

- ご使用前に、グリップの「ネジのゆるみ」「ぐらつき」「破れ」などが無いことをご確認ください。
- ご使用中にグリップがはずれる、破損するなど思わぬ事故の原因になります。異常がある場合は、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先:16項』または発売元までお問合せください。
- ゆるんだグリップ取付けネジを繰り返し締め付け直さないでください。「グリップ取付けネジのゆるみ」が見られる場合は、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先:16項』または発売元までお問合せください。
- グリップは、溝が切られていないネジ受けにネジを締め込むことでしっかりと固定されます。そのため、ゆるんだグリップ取付けネジを繰り返し締め付け直すと、ネジがゆるみやすくなり、グリップがはずれるなど思わぬ事故の原因となります。
- * グリップは消耗品です。グリップに摩耗や変形、ぐらつき、ネジのゆるみなどが見られた場合は交換してください。グリップの交換につきましては、『グリップの交換方法:14頁』をご参照ください。

ネジのゆるみを確認

❗ 必ずおこなう

- ご使用前にネジやボルトのゆるみがないかご確認ください。各部の取付けネジは、ご使用とともにゆるみが出る場合があります。ゆるみがある場合は締め直してからご使用ください。
- * ネジやボルトを締めつけすぎると、動きが悪くなる場合があります。ネジやボルトを締め直した際に動きが悪くなった場合は、少しだけゆるめるなどして動きをご確認ください。
- ネジやボルトのゆるみがあると本体フレームがはずれたり、脱落して歩行器が固定されず不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

次の頁に続く

1. 本製品の使用前に確認すること (続き)

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

⚠ 注意

誤った取扱いをすると、使用者が、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

指はさみに注意



●高さ調節時や歩行器の折りたたみ時に指をはさまないようにご注意ください。

ガタつきに注意



●本体に無理な力がかかることで、ガタつきが出る場合があります。ご使用前に必ず、本体にガタつきがないことをご確認ください。ガタつきがある場合は、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先:16項』または発売元までお問合せください。

○転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

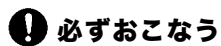
ロゴリングのずれ、
白樹脂のはずれを
確認



●本体各部のロゴリングがずれた場合や本体脚先の白樹脂がはずれた場合は、はめ直してください。はめ直し方については、『2.高さの調節:10頁』をご参照ください。

○脚先パイプと本体の間にすき間ができてカタカタ音がしたり、歩行器がガタつく原因になります。

脚先ゴムの確認



●脚先ゴムにすり減りや切れがないことをご確認ください。
また、脚先パイプに脚先ゴムが奥まで入っていることをご確認ください。
入っていない場合は、奥までしっかりと差し込んでください。
* 脚先ゴムは消耗品です。確認の際にすり減りがひどい場合は、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先:16項』または発売元までお問合せください。

○本体が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

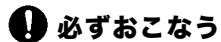
2. 使用方法についての警告と注意

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

⚠ 警告

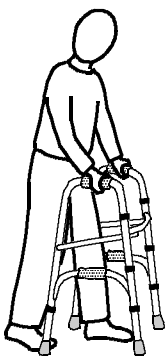
誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

左右のグリップを
握って使用

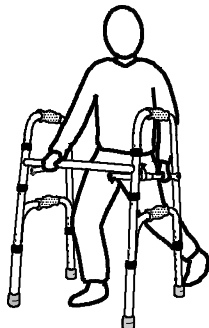


●歩行時には、左右の「歩行用グリップ」を、立ち上がる際は左右の「下段グリップ」をしっかり握りご使用ください。

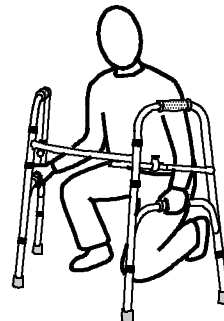
○片手での使用、グリップ以外を握っての使用は、指をはさんだりパイプの破損や転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。



歩行時は
グリップを
しっかり握る！



グリップ以外は
握らない！



立ち上がる時は
下段グリップを
しっかり握る！

次の頁に続く

2. 使用方法についての警告と注意 (続き)

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

警告

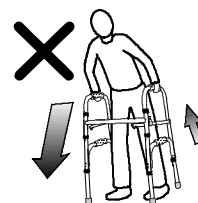
誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

左右のグリップに
均等に体重をかける

❗ 必ずおこなう

●必ず両手で左右のグリップを握り、左右均等に体重がかかるよう
ご使用ください。左右のグリップに偏った力をかけて使用しないでください。

○偏った力をかけて使用すると、歩行器が不安定になり、
転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。



立ち上がり、移乗の
際は、左右のグリップを
しっかり握る

❗ 必ずおこなう

●立ち上がりの際は、歩行器を前方に置き、必ず左右の「下段グリップ」を同時に握って
動作を行ってください。
また、立ち上がり、歩行器への乗り移りの動作を行う際には必ず介助の方が付き添い、
歩行器が動かないようご注意ください。

○歩行器に偏った力がかかると、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

開閉パイプに
力をかけない

⊘ 禁止

●開閉パイプにつかまりながら立ち上がったり、歩行しないでください。

○開閉パイプは本体をたたんだり、開いたりするための補助的なパイプです。
力をかけると、パイプが破損して転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

走って使用しない

⊘ 禁止

●歩行器を使用して走らないでください。

○転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

歩行器を前に進め
過ぎない

⊘ 禁止

●歩行器を一度に前に押し過ぎないでください。

○身体を前に移動させることが困難になり、転倒してケガなど思わぬ事故の原因になります。

身体の後ろに置いて
使用しない

⊘ 禁止

●歩行器を身体の後ろに置いて歩行しないでください。

○転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

折りたたんだ
状態で使用しない

⊘ 禁止

●折りたたんだ状態で使用しないでください。

○不安定な状態で使用すると、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

「ハの字型」で
歩行しない

⊘ 禁止

●歩行器を「ハの字型」に開いた状態で歩行しないでください。

○転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。歩行する際には「コの字型」で
ご使用ください。

次の頁に続く

2. 使用方法についての警告と注意 (続き)

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

注意

誤った取扱いをすると、使用者が、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

介助の方が
付き添い使用

❗ 必ずおこなう

- 自立歩行に不安のある方は、必ず介助の方が付き添いご使用ください。
使用者の体力や状態、使用場所に応じて、介助の方が付き添いご使用ください。
また、使用者の体力や状態に応じて介助の方が開閉動作やご使用前の準備をおこなってください。
* 身体の状態により、歩行時に、フレームなどへ身体の一部が当たること気付くことが難しい場合には、必ず介助の方が付き添いご使用ください。

- 誤った使用方法をすると使用者や製品が不安定になり、転倒によるケガなど
思わぬ事故の原因になります。

3. 使用場所についての警告と注意

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

警告

誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

平らな場所で使用

❗ 必ずおこなう

- 穴やくぼみや溝のない平らな場所でご使用ください。
使用前に歩行する範囲の通路面に穴やくぼみや溝がないことをご確認ください。
- 溝に脚先がはまって動けなくなり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

段差のある場所で
使用しない

❗ 必ずおこなう

- 歩行器を段差のある場所で使用しないでください。
- 段差に歩行器が引っかかり、転倒によるケガ、歩行器の破損など思わぬ事故の原因になります。

坂道、傾斜面で
使用しない

🚫 禁止

- 坂道や傾斜面では使用しないでください。
- 走行が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

敷居や敷物などの
上では使用しない

🚫 禁止

- 敷居や小さな段差などの障害物がある場所や毛足の長いじゅうたん、ござなど、敷物の上では使用しないでください。
- 特に毛足の長いじゅうたんなど敷物の上、また、敷物の縁では歩行器の脚先が引っかかりやすくなり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

公道での使用に
注意

❗ 必ずおこなう

- 公道で使用する場合は、歩行器の操作に十分慣れてからご使用ください。
状況に応じて介助の方が付き添いご使用ください。
歩行器は歩行者として扱われますので、道路歩行時は必ず右側を歩行してください。
また車道は歩行せずに、できる限り歩道や幅のある路側帯を歩行してください。
- 車や自転車、他の歩行者などへの接触など思わぬ交通事故の原因になります。

公共場所での
使用に注意

❗ 必ずおこなう

- 公共交通機関(バス、電車)や、店舗などでの使用については、各交通機関や店舗などの指示に従いご使用ください。
また、車内では、歩行器を使用して歩行しないでください。

次の頁に続く

3. 使用場所についての警告と注意 (続き)

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

警告

誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

介助の方が
持ち運びをする

 **必ずおこなう**

- 階段などでは、必ず介助の方が歩行器を折りたたみ持ち運びしてください。高い場所への出し入れ、車などへの積み下ろしは、必ず介助の方がおこない、使用者ご自身での持ち運びはしないでください。

○使用者が転倒する、歩行器が転倒、転落するなど思わぬ事故の原因になります。

視界が悪い場合は
使用しない

 **禁止**

- 視界が悪い場合は使用しないでください。また、夜間などに使用する場合は、必ず介助の方が付き添い、十分注意してご使用ください。また、目立つ衣服の着用や市販の反射シールなどを歩行器に貼るなどして目立つようにしてください。

○転倒や他の通行物への衝突など思わぬ事故の原因になります。

階段・エスカレーターなど
で使用しない

 **禁止**

- 階段やエスカレーター、動く歩道などで使用しないでください。

○使用者が歩行器においていかれ、転倒や転落によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

路面状況が悪い
場所で使用しない

 **禁止**

- 芝生などの滑りやすい場所や、ぬかるみ、砂利道、でこぼこ道などの悪路では使用しないでください。また、屋内で使用する場合でも、濡れた床、タイル面などでは使用しないでください。

○転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

浴室内で使用しない

 **禁止**

- 浴室内で使用しないでください。

○転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。また、浴室内の水分により金属部分のサビや、樹脂部の劣化を早める原因になります。

注意

誤った取扱いをすると、使用者が、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

店舗などで
使用する際の注意

 **必ずおこなう**

- 店舗などで使用する際には、店舗のルール、指示に従いご使用ください。また、他のお客様や商品、設備に接触しないように、十分にご注意ください。

* 店舗内でのトラブルにつきましては、弊社では責任を負いかねます。

交通量の少ない
場所で使用

 **注意**

- 交通量の多い場所では使用を避けるか、介助の方が付き添いご使用ください。

○通行者と接触し転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

屋内での使用に
注意

 **注意**

- 一般家庭など、屋内の限られたスペースで歩行器を使用する場合、歩行器が壁や家具などに当たる、ぶつかる、こすれる場合がありますのでご注意ください。ご使用の際に歩行器が壁や家具にぶつかる場合は、介助の方が付き添われるか市販のゴムシートなどで壁や家具を保護してご使用ください。

○歩行器が破損したり、壁・家具などがキズつく原因になります。

4. 修理、改造についての警告

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。



誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

交換修理について

- グリップ、脚先ゴム、脚先パイプなどは交換修理ができます。傷や摩耗、変形などが見られる場合は交換修理をおすすめします。交換修理につきましては、『アフターサービスのお問合せ先:16項』または発売元までお問合せください。

パイプを曲げ 戻さない (修理の禁止)



- 歩行時に脚先が溝や穴にはまり、転倒するなどして大きな力がかかった場合に、パイプが曲がる場合があります。このときにパイプを元の状態に曲げ戻さないでください。
*パイプに変形、異常が現れた場合には、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先:16項』または発売元までお問合せください。
- アルミパイプの性質上、一度曲がったパイプを曲げ戻して使用すると、徐々にパイプに亀裂が入り、使用中に突然折れて、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

改造をしない



- 本体に穴を開けたり、他の部品を取付けたり、他の部品に取替えるなどの改造は絶対にしないでください。
- 改造された製品は強度や安定性などの保証はできません。また、改造された製品に不具合が起きても弊社での修理対応はできません。

異常が 現れた時には (修理の禁止)



- 『お手入れの際のチェックポイント:13頁』をご参照の上、ご使用前に各部を点検してください。万一、製品に破損、変形などの異常が現れた場合は、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先:16項』または発売元までお問合せください。
お客様ご自身での修理は絶対にしないでください。
*お客様ご自身で修理をおこなった場合、弊社での修理対応ができなくなる場合があります。

5. 保管・保安上の注意

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

注意

誤った取扱いをすると、使用者が、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

折りたたんだ状態での注意

注意

- この歩行器は折りたたんだ状態では自立しません。折りたたんだ状態で置く場合は、歩行器が倒れないように壁などに立てかけてください。
- 歩行器本体の転倒により、そばにいる方がケガをされたり、歩行器や、周囲の物の破損など思わぬ事故の原因になります。

保管時の注意

注意

- 使用しない時は折りたたみ、収納保管してください。また、幼児や子供の手の届くところには放置しないでください。
- 通行する人が歩行器につまずいて転倒したり、誤って踏まれると変形、破損する原因になります。また、この歩行器で幼児や子供が遊ぶと、指、頭をはさむ、転倒してケガをするなど思わぬ事故の原因となります。

幼児や子供に注意

注意

- 幼児や子供は思わぬ行動をする場合があるため、この歩行器に近づけないよう十分にご注意ください。
- この歩行器は折りたたみができる構造ですので、幼児や子供がいたずらをしたりすると、指などをはさんだりしてケガをするなど思わぬ事故の原因となります。また、この歩行器で遊んだりすると、転倒してケガをするなど思わぬ事故の原因となります。

直射日光に注意

注意

- 保管時は、直射日光の当たらない屋内に収納保管してください。
- 屋外に放置するとサビや紫外線による金属、樹脂、ゴムの劣化が進行しやすくなる原因になります。

保安上の注意

注意

- 非常口や消火器、消火栓の前には放置しないでください。
- 緊急時の避難や救助の妨げになります。

火のそばに置かない

禁止

- 歩行器を火(暖炉、ストーブ、ファンヒーターなど)のそばに置かないでください。
- パイプに触れてやけどをしたり、グリップや樹脂部分などが溶けて使用できなくなる恐れがあります。

濡れたまま放置しない

禁止

- 屋外で使用し、突然の雨や水はねなどにより濡れた場合は、ご使用後に乾いた布で水気を拭き取り、乾燥させてください。また、屋内での使用でも、飲み物がこぼれる、消毒液がかかるなどして濡れた場合も、すぐに拭き取り、乾燥させてください。『お手入れの方法: 12頁』をご参照ください。
- 濡れたまま放置すると、金属部分がサビたり、樹脂部品の劣化(退色、亀裂)が進行しやすくなる原因になります。薬品などがかった場合、薬液の影響などで金属部分や樹脂部の劣化が早期に進行する可能性があります。

乱暴な取扱いはしない

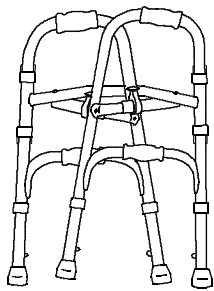
禁止

- 「歩行器を倒す」などの乱暴な取扱いはしないでください。また、「高いところから落とす」「壁や段差にぶつける」など、繰り返し強い衝撃が加わるような使い方はしないでください。
- パイプが変形して歩行器がガタつき、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。また、繰り返し強い衝撃が加えられると樹脂部分に破損を生じる恐れがあります。

【ご使用前の準備】

『1. 内容物の確認』 ❶ 必ずおこなう

梱包箱から内容物を取り出して以下のものがそろっていることをご確認ください。
確認できましたら、4つのグリップの養生用ラップをはがしてください。



本体 × 1

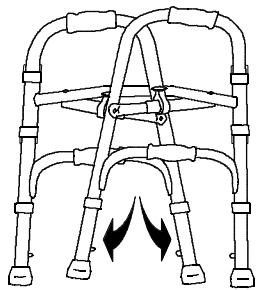
<全機種共通>



取扱説明書(本書)

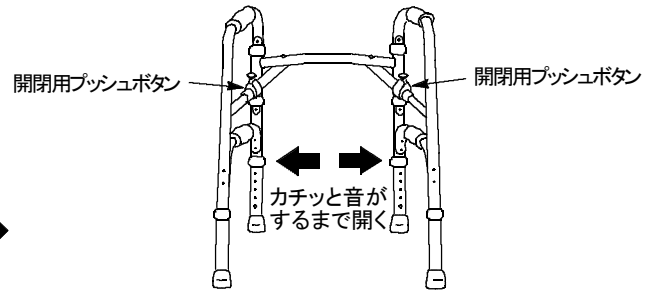
『2. 組み立て』

①左右のフレームをゆっくり開きます。



1. 本体フレームを開きます

②開閉プッシュボタンをロックします。



2. 開閉プッシュボタンをロックします。

⚠ 注意

●指をはさまないようにご注意ください。

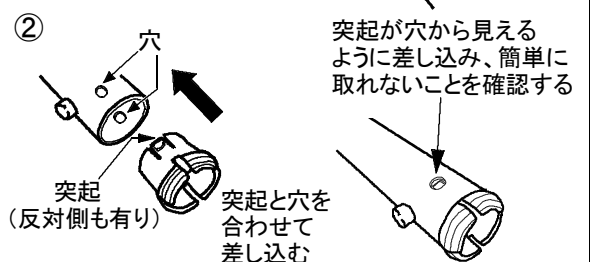
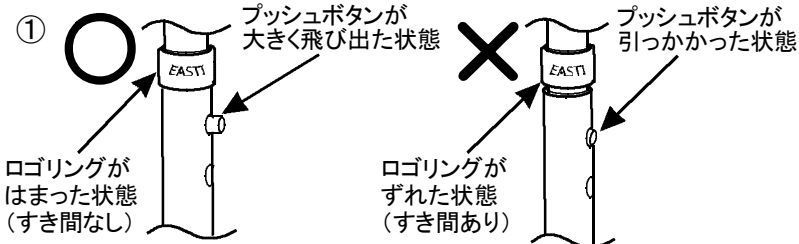
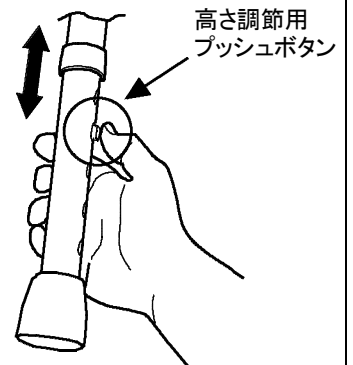
『3. 高さの調節』

使用者に合わせて脚先パイプでグリップの高さを調節してください。

⚠ 警告 ⚠ 注意

- 指をはさまないようにご注意ください。
- プッシュボタンが大きく飛び出した状態になっていることをご確認ください。(下図①参照)
- 脚先パイプは各脚とも同じ高さの穴位置にプッシュボタンをセットしてご使用ください。
- 高さ調節の際に、ロゴリングが脚先パイプからずれた場合は、ロゴリングを脚先パイプにはめ直してからご使用ください。(下図①参照)
- 脚先パイプを抜いた際、本体脚先の白樹脂が本体脚先からはずれている場合ははめ直してください。(下図②参照)
- 脚先パイプのロゴリングがずれていたり、本体脚先の白樹脂がはずれていると、カタカタ音がしたり、歩行器がガタつく原因になります。
この場合は、ロゴリングや白樹脂をはめ直してください。(下図①、②参照)

<高さ調節方法>
高さ調節用プッシュボタンを押しながら、脚先を上下にスライドさせます。



【開閉方法】

この歩行器は、フレームの開きを「コの字型」と「ハの字型」の2段階に切り替え可能です。
用途に合わせてご使用ください。

(収納時は開閉用プッシュボタンを押して下図の逆の手順で折りたたんでください。)

コの字型：歩行の補助として、下段グリップで立ち上がりの補助として使用できます。

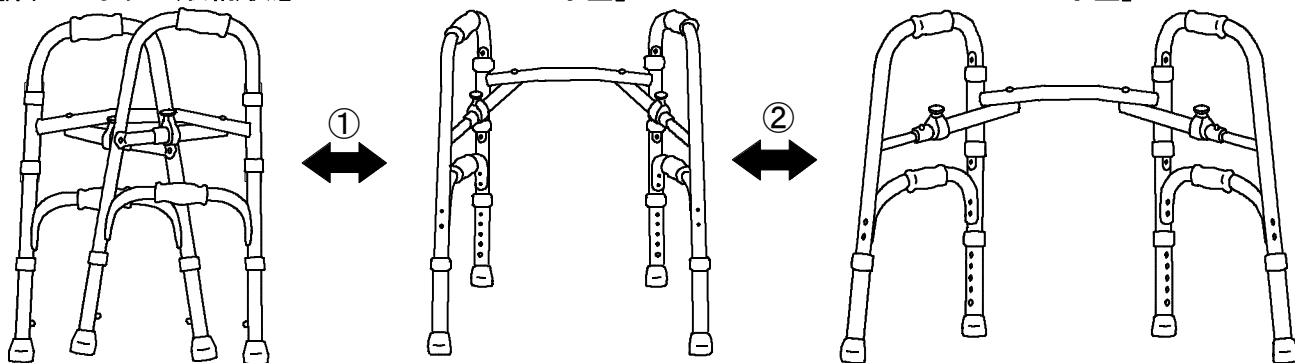
また、トイレ前方に置いて立ち座りの補助手すりとしても使用できます。

ハの字型：ベッドサイド、トイレ前方に置いて、立ち座りの補助手すりとして使用できます。

折りたたまれた(収納)状態

「コの字型」

「ハの字型」



①収納状態 ⇔ 「コの字型」の開閉方法

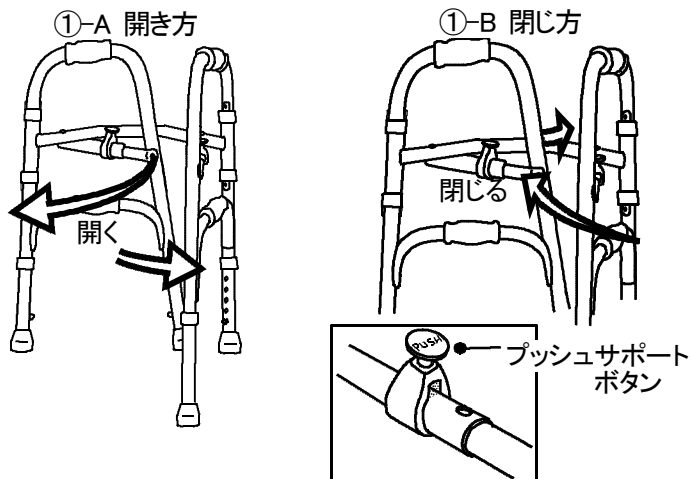
《A.開き方》(右図①-A参照)

収納状態から、左右のフレームをゆっくり開きます。
「カチッ」と音がして開閉用プッシュボタンがロック
され、「コの字型」に固定されます。

《B.閉じ方》(右図①-B参照)

「コの字型」に固定されている状態から、プッシュ
サポートボタンを押しながらフレームをゆっくり
閉じて折りたたみます。

* 収納状態から「コの字型」に開く場合、スライド
サポートプッシュボタンは押さないでください。



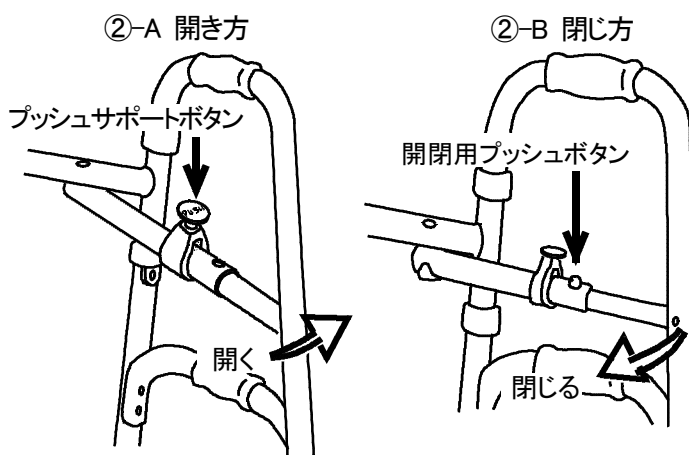
②「コの字型」 ⇔ 「ハの字型」の開閉方法

《A.開き方》(右図②-A参照)

「コの字型」に固定されている状態から、プッシュ
サポートボタンを押しながらフレームをゆっくり
開きます。開閉用プッシュボタンが左右とも穴から
飛び出てロックされ、「ハの字型」に固定されます。

《B.閉じ方》(右図②-B参照)

「ハの字型」に固定されている状態から、開閉用
プッシュボタンを押しながらフレームをゆっくり閉じ
ます。「カチッ」と音がして開閉用プッシュボタンが
ロックされ、「コの字型」に固定されます。



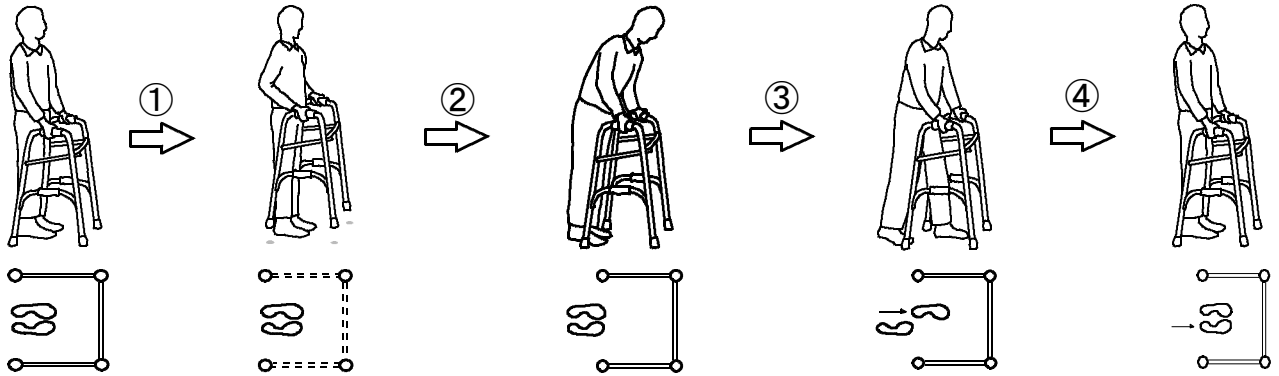
※開閉用プッシュボタンがロックしない場合は、2~3度ゆっくりとフレームを動かしてください。

※収納状態から「ハの字型」にする場合は、一度「コの字型」に固定してから「ハの字型」へと、2段階に分けて開いてください。

※「ハの字型」から収納する場合は、一度「コの字型」に固定してから収納状態へと、2段階に分けて閉じてください。

注意 ●開閉時に指をはさまないようにご注意ください。

【ご使用方法】 下の①～④の動作を繰り返し、少しずつ歩行してください。



- ①両手で歩行器を持ち上げます。 ②持ち上げた歩行器を体の前方へ出して下ろします。 ③④両手で身体を支えながら足を交互に出して前方へ移動します。

警告

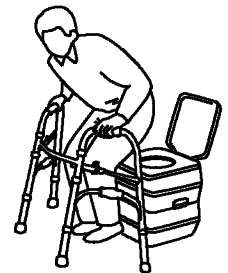
- 歩行器を前に出し過ぎないでください。
- 身体を前に移動させることが困難になって、転倒してケガなど思わぬ事故の原因になります。

【手すりとしての使用方法】

*ポータブルトイレ、洋式トイレの前やベッドサイドに置いて、立ち上がる際の支えとしてご使用いただけます。

警告・注意

- 立ち上がり際には歩行器を前方に置き、必ず左右のグリップを同時にしっかり握ってご使用ください。
- 立ち上がりの動作を行う際には必ず介助の方が付き添い、歩行器が動かないようにご注意ください。



【お手入れの方法】

- *汚れを落とす際は水または中性洗剤を含ませた布をよく絞り、ふき取りしてください。汚れのふき取り後は、乾いた布で水気をふき取り乾燥させてください。
- 『お手入れの際のチェックポイント:13項』をご参照ください。

お手入れの際の注意

本体……………

- お手入れの際のケガには十分ご注意ください。
- シンナーやベンジン、塩素系洗剤などは使用しないでください。○樹脂部分や脚先ゴムが溶けたり、変色、変形する恐れがあります。
- 金ブラシ・たわしなどは使用しないでください。○アルミパイプ、その他樹脂部分がキズつきます。
- 開閉パイプ取付けネジのゆるみを定期的にご確認ください。開閉パイプ取付けネジがゆるんでいる場合は、手でゆるめられない位置までナットをスパナで締め直してください。
*開閉パイプ取付けネジを締め付けすぎると、動きが悪くなります。ネジを締め直した際に、動きが悪くなった場合には、少しゆるめて動きをご確認ください。
- ネジがゆるんだまま使用すると開閉パイプが脱落して歩行器が固定されず不安定なり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。
- フレームの一部・ボルト・ナット・カシメなどはスチール製です。定期的に油を差すなどサビ止めの処置を行ってください。
- 本体や、パイプ溶接部にキズや亀裂がないかを定期的にご確認ください。

【お手入れの方法】 続き・・・

グリップ……………

- グリップは、水または薄めた中性洗剤を含ませた布などで汚れを落としてください。洗淨後は洗剤、水気をよくふき取ってください。
- 汚れたまま、ぬれたまま放置すると樹脂やゴムが劣化する原因になります。
- シンナーやベンジン、塩素系洗剤などは使用しないでください。
- 樹脂やゴムが溶けたり、変色、変形する恐れがあります。
- 使用状況により取付けネジからサビがでる場合があります。使用前に市販の防サビ剤などの塗布をおすすめします。

【お手入れの際のチェックポイント】



警告

誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

- 製品は使用とともに劣化が進みます。この取扱説明書をご参照の上、定期的に次頁の部分を中心に製品の各部を点検してメンテナンスをしていただきますようお願い申し上げます。
- この製品の保証期間は、ご購入日より**1年間**です。
なお保証期間を経過し、長年ご愛用いただいている製品につきましても、特に注意して定期点検をしていただき、点検の結果、製品に異常が見られる場合には、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先:16項』または発売元までお問合せください。

<消耗部品について>

脚先ゴム、グリップ、ネジ、ナット、バネなどは消耗部品です。定期的に点検していただき、メンテナンスの際に摩耗や劣化、破損などがある場合は交換してください。

<①本体(パイプ)>

- ・パイプにキズや変形はないですか？
- ・「コの字型」および「ハの字型」に固定した状態でガタつきはないですか？
- ・溶接部分に亀裂はないですか？

<②プッシュボタン>

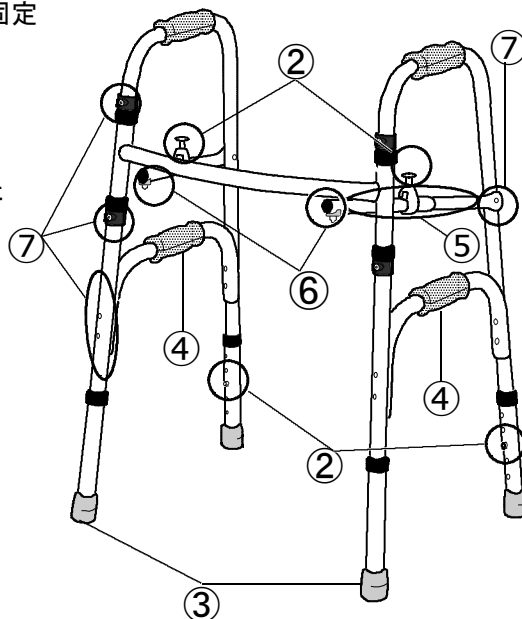
- ・各プッシュボタンは大きく飛び出した状態に固定できますか？

<③脚先ゴム>

- ・奥まで差し込まれていますか？
- ・底面がすり減っていませんか？

<④グリップ>

- ・摩耗や変形はないですか？
 - ・ネジのゆるみはないですか？
 - ・グラツキはないですか？
- グリップの交換につきましては、『グリップの交換方法:14頁』をご参照ください。



<⑤開閉パイプ>

- ・変形や亀裂はないですか？

<⑥ネジ・ボルト部分>

- ・ネジ・ボルトにゆるみはないですか？
- ・ネジ・ボルトに破損や脱落はないですか？
- ・簡単にずれたり、回転しませんか？

<⑦カシメ部分>

- ・破損や脱落はないですか？

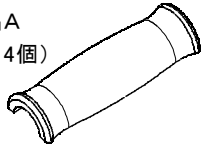
【グリップの交換方法】

「歩行用グリップ」「下段グリップ」は、交換用部品をご用意しております。グリップに摩耗や変形、ぐらつき、ネジのゆるみなどが見られた場合は「セーフティーアーム 交換用グリップセット(SAGPS)」をお買い求めいただき、交換していただきますようお願い申し上げます。お買い求めの際は、『アフターサービスのお問合せ先:16項』または発売元までお問合せください。

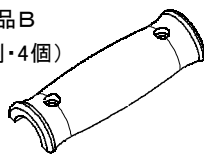
1. 部品内容

セーフティーアーム 交換用グリップセット(SAGPS)

部品A
(上側・4個)



部品B
(下側・4個)



グリップ取付けネジ(8個)



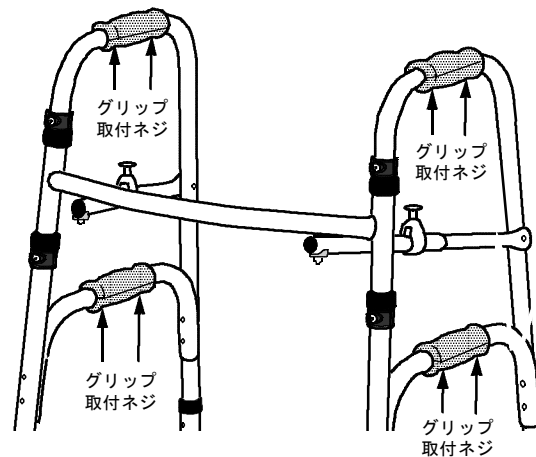
①必ずおこなう

部品をお買い求めいただきましたら、左記のものがそろっていることをご確認ください。

2. 交換方法

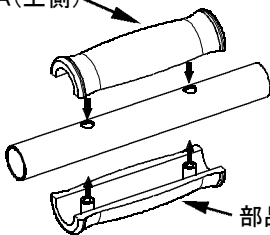
『1. 古いグリップを取りはずす』

+ドライバーを使用して、グリップ取付けネジを取りはずし、古いグリップを取りはずします。

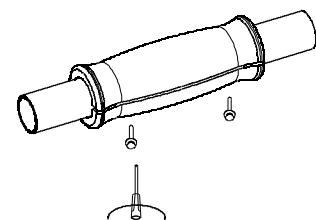
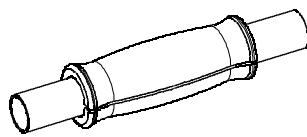


『2. 新しいグリップを取付ける』

部品A(上側)



部品B(下側)



①「部品A」はパイプ上側、「部品B」はパイプ下側(床面側)に取付けてください。

②「部品A」と「部品B」をぴったりあわせてください。

③ネジをまっすぐ差し込み、部品Aと部品Bの間にすき間やぐらつきがないように、取付けネジ2ヶ所を+ドライバーでしっかり締めつけてください。



●グリップを交換する前に、本体フレームパイプ、特に、グリップ取付け周囲部分のパイプに変形、亀裂などがないことをご確認ください。パイプに変形、異常が見られる場合には、即時に使用、交換を中止し、『アフターサービスのお問合せ先:16項』または発売元までお問合せください。

○パイプが変形したり破損するなど思わぬ事故の原因になります。

●取りはずしたグリップを、再度取付けしないでください。また、取付けたグリップに、すき間やぐらつきが見られる場合には、ネジの付け直しをせず、新しいグリップに交換し、付け直してください。

○グリップは、溝が切られていないネジ受けにネジを締め込むことでしっかりと固定されます。そのため、一度締め込んだネジを抜き、再度取付けると、ネジがゆるみやすくなり、グリップがはずれるなど思わぬ事故の原因となります。

●グリップを交換した後、グリップの部品A(上側)と部品B(下側)の間にすき間やぐらつきがないことをご確認ください。すき間やぐらつきが見られる場合には、ネジの付け直しをせず新しいグリップに交換し、付け直してください。

取付けがうまくできない場合は、使用せずに『アフターサービスのお問合せ先:16項』または発売元までお問合せください。

○不完全な取付けは、グリップがはずれるなど思わぬ事故の原因になります。

【基本仕様】

品名：①セーフティーアーム ②セーフティーアームハイタイプ

品番	使用時サイズ(幅×奥行×高さ)		重量	材質	使用者最大体重
①SAR-C	コの字	61.5×45×70～80cm	2.7kg	本体:アルミ(一部スチール) グリップ :合成ゴム	100kg
	ハの字	103×45×70～80cm			
②SAHR	コの字	65.5×45×79.5～89.5cm	2.9kg		
	ハの字	107×45×79.5～89.5cm			

【安全に製品をご使用いただくために】

《レンタル事業者様へ》

- 「イーストアイ・セーフティーアーム/セーフティーアーム ハイタイプ」をレンタル品としてお取扱いいただきまして、誠にありがとうございます。歩行器をレンタルされる際には、使用者へ歩行器の使用条件、使用方法取扱い上の警告・注意事項など、この取扱説明書の内容について十分説明していただくようお願いいたします。
また、実際に使用される場所をご確認いただき、周辺に障害物などの危険(例:家具、敷居、敷物など)がある場合、使用者に対して、「使用環境の整備」と「事故防止の対策」などの提案をお願いいたします。
この説明書の内容をご説明いただいた後、必ず下記『アフターサービスのお問合せ先』の各事項を記入の上、商品と一緒に使用者へお渡しください。
- ご使用前に専門家(医師、理学療法士、介護福祉士、ケアマネージャーなど)にご相談ください。長期にわたってレンタルされる場合は使用者の症状が変わる場合があります。定期的に使用者にとってこの用具が正しく、安全に使用することが可能かどうか、製品の状態、使用方法や使用状況などをご確認の上、再度、用具(歩行器、多点杖、歩行車など)の選定の検討や正しい使用方法のご説明をお願いいたします。
- 定期的に使用者宅を訪問の際に、歩行器の状態を『お手入れの際のチェックポイント:13項』に基づきご確認いただき、メンテナンスをおこなってください。製品は外部から見て損傷がないように見えても、ご使用とともに金属疲労、紫外線等による樹脂の劣化・退色、ゴムの摩耗や硬化などの経年劣化が進み、強度不足など総合的に製品の安全性に問題となる場合があります。点検後に異常が見られる場合は、即時に使用を中止して製品の回収をしていただき、下記『製品についてのお問合せ先』までお問合せください。メンテナンス不良のまま製品の使用を続けると製品の破損や転倒など思わぬ事故の原因になります。定期的にメンテナンスをお願いいたします。
- 弊社では定期的に取り扱説明書を改訂しております。商品をご購入後、1年以上を経過して再レンタルなどの場合には、ホームページから介護保険貸与対象福祉用具の「取扱説明書」の最新版をダウンロードしてご利用ください。
(ホームページURL <http://www.easti.co.jp>)

《ご利用者様、介護される方へ》

- この度は「イーストアイ・セーフティーアーム/セーフティーアームハイタイプ」を、ご使用いただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書には、本製品を安全にご使用いただくための警告・注意事項や使用方法、お手入れの際のチェックポイントや点検方法などが記載してあります。レンタル開始時に必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、不明な点などございましたら、貸与を受けられているレンタル事業者までお問合せください。
ご使用の間に、製品に破損や変形などの異常がみられる場合は即時に使用を中止して、
『アフターサービスのお問合せ先:下記』または発売元までお問合せください。

『アフターサービスのお問合せ先』

製品名(品番) **セーフティーアーム/セーフティーアーム ハイタイプ (品番: SAR-C/SAHR)**

レンタル開始日 年 月 日

会社名 (住所/電話番号をご記入ください)

* 商品に異常が見られる場合はすぐに使用を中止し上記レンタル事業者に連絡してください。

- * 無断転載・複写を禁じます。
- * 説明の都合上、実際の製品に対し、全てのイラストは簡略化しています。
- * 「セーフティーアーム」は株式会社イーストアイの登録商標です。
- * 製品を譲渡される場合は、必ず合わせて本説明書もお渡しください。
- * 廃棄の際には、居住地の自治体の指示に従い処分・廃棄してください。



＜製品についてのお問合せ先＞

株式会社イーストアイ(発売元)

〒123-0864

東京都足立区鹿浜1-4-14

TEL 03(3897)9393 / FAX 03(3897)9535

[sar_sahr_210930_dl]